

第 2 回進路説明会

令和 3 年 1 0 月 1 5 日 (金)

開進第二中学校

【進路説明会の目的】

①入試制度について理解する

⇒ 都立高校の変更点

②今後のスケジュールの把握

⇒ 受験校の決定の時期

出願へ向けての準備

時期	進路の行事	入試の準備
10月	進路希望調査 第2回三者面談	出願書類を準備 ・願書の入手 ・調査書記載事項の確認 ・志望理由の検討
11月	進路希望調査	面接対策
12月	第3回三者面談	12月1日受験写真撮影

志望校の絞り込み

受験校決定

**推薦入試、
私立併願優遇・第一志望優遇**

都立高校の入試制度について

10月下旬配布予定の

「令和4年度東京都立高等学校募集案内」も

ご確認ください。

1. 都立高校の入試の種類

推薦に基づく選抜
(推薦入試)

一般推薦

文化・スポーツ等特別推薦

理数等特別推薦 (立川高校)

学力検査に
基づく選抜
(一般入試)

第一次募集・分割前期募集

分割後期募集・第二次募集

※インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査・追々検査

2. 都立推薦入試 (1) 応募資格

中学校長の推薦を受けた者

志願する都立高校を第1志望とする者

※国立・私立を含めて志願する都立高校を第1志望

**推薦入試により合格した場合には、入学する。
入学許可の辞退や、他の高校等の受験はしない。**

(2) 目的

一般推薦

基本的な学力を前提に、
課題を解決できる力、
コミュニケーション能力を評価し選抜

文化・スポーツ等特別推薦

各校の個性化・特色化の推進
卓越した能力を評価し選抜

- ・ 当該校の一般推薦にも出願することができる。
- ・ 志願者の活動の実績等を証明する書類は必要ない。

理数等特別推薦
(立川高校のみ)

理数系分野の素養を前提に、
課題を解決できる力、
新しい価値を生み出す創造性を評価し選抜

- ・ 他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。
- ・ 学校所定の様式の理数等特別推薦書が必要。
- ・ 科学的な取組に関するレポートを提出する。

(3) 都立推薦入試の選抜方法

必須

● 調査書点

● 個人面接点

『自己PRカード』を面接資料として活用

選択

◆ 小論文又は作文点

◆ 実技検査点

高校が定めたいずれか1つ以上の検査

総合成績

※一般推薦の
募集人員は
男女別に定める

(4) 都立推薦入試の心構えと対策

① 毎日の学校生活・学業に真摯に取り組む

② 面接・小論文等の対策をする

⇒ 11月～ 個人面接対策、自己PRカードの作成
12月中旬 校長先生等との個人面接練習

「本校の期待する生徒の姿」
に沿った志望理由にする

③ 出願の準備を着実に行う

12月の三者面談にて受検校決定

1月12日(水)～ 出願開始(各自で郵送)

3. 都立一般入試 (1) 選抜方法

出題範囲の配慮はなし

例)

学力検査の得点
700点満点

調査書点
300点満点

総合得点
1000点満点

総合成績

以下を実施する
高校もある

面接点
小論文点又は作文点
実技検査点 等

(2) 学力検査の得点と調査書の比率

課程・募集別		学力検査の教科	学力検査と調査書の比率
全日制 課程	第一次募集 分割前期募集	5教科 (国数英社理)	7 : 3
	分割後期募集 第二次募集	3教科 (国数英)	6 : 4
定時制課程	第一次募集 分割前期募集	5教科 (国数英社理) の中から 3教科以上	7 : 3 又は 6 : 4
昼夜間 定時制課程	分割後期募集 第二次募集	5教科 (国数英社理) の中から 3教科以上	6 : 4 又は 5 : 5

※エンカレッジスクールやチャレンジスクールは
調査書、面接、小論文又は作文や実技の結果を総合した成績で選抜

(2) 男女別定員制の緩和 **変更点**

募集人員の1割に相当する人員を、
男女合同の総合成績の順により決定し、
合格候補者とする。

※全日制普通科高校（コース制・単位制を除く。）において実施

例) 募集人員：男子 100名、女子 100名
合格者：男子上位90名、女子上位90名

1割に相当する20名は男女合同で並べた上位の者

(3) インフルエンザ等 学校感染症罹患者等に対する措置

第一次募集に出願した高校の追検査を利用可

【対象者】

第一次募集において、以下の理由で受検できなかった者

- ・ インフルエンザ等の感染
- ・ 学校保健安全法第19条により中学校長が出席停止
- ・ 新型コロナウイルス感染及び感染が疑われる場合
- ・ 受検日当日に37.5度以上の発熱
- ・ 受検日当日に37℃以上の発熱があり追検査を希望

追検査及び分割後期募集に出願した高校の 追々検査を利用可

【対象者】

罹患者等になったため、

「追検査」又は「分割後期募集」を受検することができなかった者

**追検査及びに追々検査の
出願前に中学校から高校へ
措置申請書を提出**

<昨年度の場合>

- ・検査日当日、登校時の検温実施
- ・平熱が37度以上の場合の証明書提出
- ・37度～37.5度未満の場合、
別室受検
- ・体調不良で早退時は保護者と帰宅

(4) 出願手続 **変更点**

入学願書等は、志願者が個人で郵送提出

書類	提出者	提出先
願書・自己PRカード ^等	志願者	高校指定の郵便局に送付 (郵便局留)
調査書・推薦書	中学校	高校へ

【対象】 推薦入試、第一次募集・分割前期募集

【受検票】 中学校にまとめて返送後、受検者へ

インターネット出願 **変更点**

※後日詳細発表

三田高校	豊島高校 (全日制)	小松川高校	五日市高校 (全日制及び定時制)
小山台高校 (全日制及び定時制)	練馬高校	松が谷高校	工芸高校 (全日制)
駒場高校	足立高校 (全日制及び定時制)	立川高校 (全日制及び定時制)	第五商業高校 (全日制)
目黒高校	足立西高校	福生高校 (全日制)	晴海総合
雪谷高校	江戸川高校 (全日制及び定時制)	清瀬高校	若葉総合高校

【対象】 推薦入試、第一次募集・分割前期募集

【願書・受検票】 インターネットの出願サイトから印刷



(5) 受検後の手続き

【合格発表】

ウェブサイト 8:30

校内掲示

(全日制) 9:30

(定時制) 16:00

【入学手続き】

合格発表日とその翌日に、

受検番号等で

時間を区分し行う。



【推薦入試の合格】

- ・ 第1志望ですので、入学辞退はありません
- ・ 一般入試への出願はできません

注意

【第一次募集・分割前期募集、第一志望の国立・私立高校の合格】

- ・ 分割後期募集・第二次募集への出願はできません

(6) その他の手続

変更点

志願者の作成する書類の

性別記入欄の廃止

※願書での記入は任意

※性同一性障害等の受検者への対応は協議の上決定

【募集開始】

小台橋高校 (チャレンジスクール)

【募集停止予定】

両国高校・大泉高校

【特別措置】

障害、病気等のある受検者

日本語指導を必要とする受検者 (ルビ振り)

外国籍の受検者 (ルビ振り、辞書の持ち込み)

**10月三者面談
必ず相談**

※突然の事故や病気等の場合は、速やかに中学校へ相談ください

※携帯電話、時計以外の機能のある時計、通信機器は原則持ち込まない。

(7) 都立高校入学者選抜の主な日程

	入学願書 受付	取下げ 再提出	検査	発表
推薦入試	1/12(水) ~1/17(月)	—	1/26(水) 1/27(木)	2/2(水)
第一次募集・ 分割前期募集	1/31(月) ~2/4(金)	2/10(木) 2/14(月)	2/21(月)	3/1(月)
分割後期募集・ 第二次募集	3/4(金)	3/7(月) 3/8(火)	3/9(水)	3/15(火)

郵便局留
必着

インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査

(8) 都立高校についての情報収集

① 10月下旬頃「東京都立高等学校募集案内」配布

- 各都立高校の募集人員、インターネット出願
- 出願日、検査日、合格発表・手続きの日程

② 12月の三者面談までに

- ・推薦入試を利用するか、しないかの意思決定
- ・願書等が高校所定の様式の場合は各自で入手

【チャレンジスクール】六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校
【定時制課程】一橋高校、新宿山吹高校、浅草高校、荻窪高校

※国際高校バカロレアコース、都立産業技術高等学校、

都立特別支援学校高等部を志望する場合には、日程や手続きの確認を早めに行うこと

私立高校の入試制度について

1. 私立高校の入試の種類

12月三者面談で受験校決定

推薦入試

一般推薦

スポーツ推薦等

一般入試

第一志望優遇

併願優遇

一般入試

中学校長
からの
推薦

中学校が書類準備



12月15日~
入試相談

※東京都以外の私立高校も受験可

注意 入試制度や日程、選考方法を要確認すること。

2. 私立推薦入試・第一志望優遇 (1) 応募資格

中学校長の推薦
を受けた者

① 志願する私立高校を第1志望とする者

※国立や都立を含めて志願する私立高校を第1志望

② 各私立高校の推薦基準に該当する者

推薦入試・第一志望優遇により合格した場合には、入学する。
入学許可の辞退や、他の高校等の受験はしない。

(2) 私立推薦入試の選抜方法

書類審査

作文

面接

適性検査

実技

私立高校が
任意で実施



※出願者が募集人員を超えた場合、
成績順に合否が決定する場合もある。

3. 私立一般入試の選抜方法

学力検査
(国・数・英が多数)

面接

調査書等



私立高校が
任意で実施

※12月15日からの、入試相談にて

第一志望優遇・併願優遇の基準を満たしている場合
各私立高校が定める優遇措置を受けることができる。

4. 都内私立高校入学者選抜の主な日程

	入学願書 受付	試験	発表・手続き
推薦入試	1/15(土)~	1/22(土)~	各私立高校の 指定日
一般入試	1/25(火)~	2/10(木)~	

【併願優遇】 第一志望が都立高校の場合、第一次募集・分割前期募集の合格発表日まで、入学金等の延納を認めることがあります。

※「延納願」が必要な場合もあります。

5. 私立入試の注意点

① 出願書類は各自で準備



② 調査書（私立高校所定の様式）は
冬休み前に担任へ作成を依頼

③ 受験の日程を確認

特に、複数の高校を受験する場合には、
受験や手続きの日程を十分確認しましょう。

推薦入試、併願優遇、
第一志望優遇等の
基準も要確認！

基準を満たさない場合の対応策を要検討！！

6. 専修学校、通信制高校、サポート校

- ・見学会や説明会にて、学校の特色や入試制度を確認すること。
- ・入試日程も多いが、募集人員を満たし次第、以後の募集を止めるところもある。第一志望の際は早めに出願しよう。

変更点

- ・私立都認可外通信制高等学校
在学生授業料助成金が今年度から開始 ⇒

[対象校]

飛鳥未来きずな高校、鹿島学園高校、明聖高校
大智学園高校、S高校、N高校など

※都認可通信制高校の助成金は以前から支給されています。

都内在住の生徒・保護者のみなさまへ 令和3年度

東京都以外の自治体が認可している私立通信制高校の
授業料に対する助成金があります

助成額

①国の助成	就学支援金	年収目安 約590万円～約910万円まで	※1
②都の助成	私立都認可外 通信制高等学校 在学生授業料助成金	年25万4,000円	(最大) ※2

※1 年収目安について
-保護者1人のみ給与収入がある4人家族(夫婦と子2人)をモデルとした場合です。
-年収は目安であり、専業主婦は区市町村税控除標準額等に基づき行います。
-年収目安約590万円未満の世帯は、就学支援金の対象です。
-所得要件を超過している場合でも、就学する23歳未満の子が3人以上いる世帯は、年6万9,400円負担が軽減されます。

※2 助成額について
-助成額は①と②を合わせて最大25万4,000円ですが、授業料の実費超過や所得等の状況により25万4,000円に満たない場合があります。

【冬休みまでのスケジュール】

10月26日(火)~ 11月2日(火)	三者面談	志望校の絞り込み 調査書記載事項確認の提出
11月22日(月)・ 24日(水)	期末考査	私立高校の 推薦入試、併願優遇、 第一志望優遇等の 基準を満たしているかを確認
12月3日(金)	合計内申提示	
12月6日(月)~ 10日(金)	三者面談	受験校 決定 都立・私立 推薦願 (第一志望優遇願) 、 併願優遇願の提出
12月15日(水)~	私立入試相談	(中学校と高校の教員が行う)
冬休み前	調査書作成願	入試相談等の結果は 随時お知らせします
1月上旬	調査書記載事項通知	